

14 潜在的歯科衛生士の再就職促進のための教育・研修・スキルアッププログラム報告

○山田隆文, 本間和代, 江川広子, 平澤明美, 渡邊美幸, 幸田奈美, 木戸真紗美, 小野真奈美
明倫短期大学 歯科衛生士学科

keywords : 学び直し, 潜在的歯科衛生士

はじめに

明倫短期大学歯科衛生士学科は平成19年度文部科学省委託事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択され、「潜在的歯科衛生士の再就職促進のための教育・研修・スキルアッププログラム」を展開してきた。

歯科衛生士学科のカリキュラムの科目等履修・聴講の他、これまでに32の特別講座を開講し、のべ約800人の受講生が参加、日本歯科衛生士会の認定歯科衛生士の特別講座単位としても認められた。また、平成21年3月22日には、東京国際フォーラムに於いて「歯科衛生士のための学び直しシンポジウム」を開催し、日本歯科医師会の池主憲夫理事・日本歯科衛生士会の金澤紀子会長の基調講演、二つのシンポジウムを行った。

これまでの経過と今後の「卒後教育」のありかたについて報告する。

対象および方法

対象：潜在的歯科衛生士（国家資格は取得しているが、結婚・出産・育児・介護などの理由で離職し、その後は、歯科医療の現場で働いていない歯科衛生士）

方法：

- 1) 明倫短期大学歯科衛生士学科講義・実習の科目等履修および聴講
- 2) 特別講座の開催
(社)日本歯科衛生士会の特別研修単位として認定
- 3) 学び直しシンポジウム

平成21年3月22日（日）於東京国際フォーラム

結果

学び直しシンポジウムの状況を以下に示す。

写真1 学び直しシンポジウム



特別講座受講生の状況を示す。

表1 受講生の動向（2002年3月までの予定含む）

講座内容	受講人数
歯周治療に関する講座	198人
コミュニケーションに関する講座	149人
摂食・嚥下に関する講座	122人
最新の歯科医療技術に関する講座	96人
インプラント講座	53人
介護専門支援員をめざす受験講座	48人
訪問診療・有病者に関する講座	45人
TEK講座	44人
ホワイトニング	39人
その他	3人
合計	797人

考察

結果は、本来の潜在的歯科衛生より卒後教育としての受講が多く、今後の卒後教育の在り方や広報の方法を考えていく必要がある。今後の展開としては、地域歯科医師会・歯科衛生士会・校友会などとの連携を強め、地域歯科医師会との連携講座などを開催していく。